

## 2 群馬県男女共同参画基本計画(第3次)の数値目標達成状況と中間年評価

群馬県男女共同参画基本計画(第3次)では、「男女が性別にかかわらず、一人ひとりの考え方や生き方が尊重される社会、あらゆる分野への参画の機会が保障され、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現」を基本理念に掲げ、今後取り組むべき重要課題を踏まえ、基本理念を達成するための基本的な施策目標を11項目設定するとともに、計画の推進状況を把握するための数値目標を設定しました。

本年度は中間年の評価を行い、達成状況などを確認の上、各指標の目標値等について見直しを行いました。

平成24年度までの達成状況及び変更後の目標値は、下表のとおりです。

### 基本目標1 制度・慣行の見直しと意識の改革

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値)÷(目標値-基準値)</small>	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
「男女共同参画社会」の認知度	45.9%	H21	45.9%	H21	—	100%	H27
男女の地位の平等感(社会全体)	18.6%	H21	18.6%	H21	—	増加	H27

#### 中間年評価

- 制度慣行の見直しと意識の改革については、各取組事業の実施により推進している。
- 群馬県男女共同参画推進委員会では、男女共同参画の推進にかかる基本的かつ総合的な施策、及び重要事項の審議を行っている。また、基本計画の推進状況に関し、年度ごとの推進状況の確認や各事業の実施に関する意見などを述べた。
- 高校教育改革推進に関しては、高校教育改革推進計画に基づき、地区別に検討を実施した。
- 「男女共同参画に関する意見の申出」、「男女共同参画推進責任者」など、周知不足により効果的に機能していない制度や仕組みが見られるが、今後、実施方法等を見直していく必要がある。
- 「ぐんま男女共同参画センターHPの整備」、「センター通信の発行」などにより、男女共同参画社会についての正しい理解が県民に広く普及し定着するよう、広報の推進、情報の収集・整備・提供につとめた。

### 基本目標2 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値)÷(目標値-基準値)</small>	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
県の審議会等への女性の参画率	29.6%	H21	33.1%	H24	<b>64.8%</b>	35.0%	H27	
県職員の管理職に占める女性の割合	6.1%	H22	6.7%	H24	—	推進	H27	
公立学校の教頭以上に占める女性の割合	小学校	20.0%	H22	18.4%	H24	—	推進	H27
	中学校	3.9%	H22	4.8%	H24	—	推進	H27
	高校(県立特別支援校を含む)	3.5%	H22	5.0%	H24	—	推進	H27
女性農業委員数の割合(基本目標7再掲)	7.2%	H21	9.2%	H24	<b>71.4%</b>	<b>10.0%</b>	H27	

#### 中間年評価

- 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大を推進するための、「附属機関の設置及び運営指針」(平成21年5月1日施行)の策定や、「女性人材データベース」(H24年度更新)の整備に取組み、女性参画への取組推進体制が整備された。  
※「女性人材データベース」:H24年度更新 登録人数306人(登録分野別 14分野 延べ629人)
- 県の審議会等への女性の参画率は33.1%となったが、引き続き、関係課への働きかけを行い、女性の参画の推進に取り組む。
- ◆ 数値目標等の見直しについて  
○女性農業委員数の割合 目標値変更 理由:H24年度実績で9.2%となり、目標値を達成しているため、目標値については、「ぐんま農業・農村男女共同参画行動計画(H23~H27年度)」の推進目標を上方修正し、H27年度の目標値を8.0%から10.0%とする。

### 基本目標3 女性に対するあらゆる暴力の根絶

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値)÷(目標値-基準値)</small>	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
配偶者暴力相談支援センター数	2か所	H22	1か所	H24	-50.0%	4か所	H27
総合労働相談相談件数	1,619件	H21	1,567件	H24	-13.6%	2,000件	H27
県内企業のセクシュアル・ハラスメント防止措置状況 (検討・計画を含む)	39.0%	H18	50.8%	H22	107.3%	50.0%	H27

#### 中間年評価

- 「配偶者暴力相談支援センター」は、県内に1か所のみであるため、身近で安心して相談でき、各種手続きなどワンストップでサービスが提供できるメリットを有する市町村へのセンター設置について積極的な働きかけが必要である。
  - 女性相談センターの移転に伴い、相談部門と保護部門との連携が強化され、相談者の利便性や安全性が向上した。
  - 一時保護所退所後のDV被害者の中長期的な支援については市町村や民間支援団体と連携し実施していく必要がある。
  - 県警では、女性相談員による24時間電話相談開始(H25年4月～)されるなど、暴力の予防・根絶のための取組が推進されている。
  - 相談窓口等、被害者に対する支援制度を更に周知するため、引き続き広報に取り組む。
- ◆ 数値目標等の見直しについて
- 配偶者暴力相談支援センター数**については、最新値が基準値を下回る結果となったが、これは女性相談センターの移転に伴うものであり、機能の充実が図られ、利用者の利便性も向上している。数値目標については市町村の配偶者暴力相談支援センターも含めた数値となっているため、引き続き設置に向けた働きかけや支援を実施していく。
- 総合労働相談相談件数** 最新値が基準値を下回る結果となったが、経済状況等により相談件数は左右されるが、県内相談機関と連携し、引き続き、厳しい雇用情勢の中で複雑化・高度化している労働相談に的確に対応していく。
- 企業内のセクシュアル・ハラスメント防止措置状況**については、目標値を達成しているが、目標値等の訂正は行わず、最新値を下回らないよう引き続き企業への働きかけを実施していく。

### 基本目標4 子育て環境の整備

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値)÷(目標値-基準値)</small>	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
私立幼稚園における預かり保育実施園数	123園	H20	123園	H24	—	推進	H27
私立幼稚園子育て支援推進事業実施園数	98園	H19	105園	H24	—	推進	H26
ぐーちよきパスポート協賛店舗登録数	3,208店	H21	4,768店	H24	87.1%	5,000店	H26
放課後児童クラブ(学童保育)数	357か所	H21	406か所	H24	98.0%	407か所	H26
延長保育実施か所数	279か所	H21	280か所	H24	4.0%	304か所	H26
特定保育実施か所数	3か所	H21	4か所	H24	100.0%	4か所	H26
休日・夜間保育実施か所数	18か所	H21	18か所	H24	0.0%	41か所	H26
病児・病後児保育実施か所数	31か所	H21	49か所	H24	90.0%	51か所	H26
母子家庭等就業・自立支援センター事業就職相談件数	182件	H21	198件	H24	88.9%	200件	H27
職場創造支援資金貸付件数	1件	H21	0件	H24	-100.0%	2件	H27
女性労働支援セミナー参加者数 (H23年度で事業終了)	64名	H21	70名	H23	16.7%	100名	H27
<b>(新)ぐんまのイクボス養成塾(県域講演会)参加者数</b>	<b>143名</b>	<b>H24</b>	<b>143名</b>	<b>H24</b>	—	<b>150名</b>	<b>H27</b>

#### 中間年評価

- 保育環境の整備に関しては、放課後児童クラブの設置や特定保育、病児・病後児保育の実施などの取組は進んだが、延長保育や休日・夜間保育については今後も引き続き取組の推進が必要となる。
  - 男性の育児休業取得がなかなか進まないといった課題に対し、育児休業等制度の取得及び男性の育児参加を促進し、仕事と家庭の両立を支援する「ぐんまのイクメン・イクボス養成塾」を新規事業として実施し、企業への働きかけや男性への働きかけを行った。  
・「ぐんまのイクメン・イクボス養成塾」→「女性労働支援セミナー」(H23年度事業終了)の後継事業
  - 多様なライフスタイルに合わせ、様々な子育て支援策が実施された。
- ◆ 数値目標等の見直しについて
- ぐーちよきパスポート協賛店舗登録件数** 基準値変更 理由:「ぐんま子育て・若者サポートビジョン2010」基準値にあわせ訂正
- 職場創造支援資金貸付件数** 目標値変更 理由:県総合計画「はばたけぐんまプラン」の目標値に合わせ4件から2件に訂正。また、実績値が基準値を下回る結果となったが、厳しい経済情勢を反映し、県内中小企業に余裕がないことが考えられる。より利用しやすい制度となるよう、他の融資制度への統合も含め、検討を進めていく。
- 女性労働支援セミナー参加者数** 指標の変更 理由:事業終了により指標を「ぐんまのイクボス養成塾(県域講演会)参加者数」へ変更
- 「放課後児童クラブ数」や「特定保育」「病児・病後児保育」など、90%を超える達成率(目標を既に達成した指標も有り)となっているが、これらの指標及び目標値については、個別計画である「群馬県次世代育成支援対策推進行動計画(後期計画) H22年度～H26年度」で設置する目標値となっているため、変更は行わない。

### 基本目標5 男女の仕事と生活の調和

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値) / (目標値-基準値)</small>	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
週5日以上家族や友人と楽しく食卓を囲む県民の割合	61.6%	H21	76.3%	H22	79.9%	80%以上	H27	
県職員の男性の育児休業等の取得率 *1	2.91%	H21	3.90%	H24	1100.0%	3.0%	H26	
事業所の育児休業規定整備状況	84.4%	H22	84.4%	H22	—	90.0%	H27	
事業所の育児休業取得率	女性	97.8%	H22	97.8%	H22	—	更に向上	H27
	男性	1.1%	H22	1.1%	H22	—	10.0%	H27
夫婦が同じくらい育児を分担する家庭の割合	16.5%	H21	16.5%	H21	—	65.6%	H27	
「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	17.8%	H21	17.8%	H21	—	50%以上	H27	

\*1 県職員の男性育児休業等取得率基準値0.97%(H21年)→2.91%に訂正 育児休業等の目標値3.0%には「育児休業」「部分休業」「育児短時間勤務」が含まれるが、基準値は「育児休業」のみの数値であるため「部分休業」「育児短時間勤務」を含めた数値に訂正するもの

中間年評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再就職を希望する女性に対する再就職セミナーの実施や、女性医師、看護師等の再就職を支援する事業など、女性の社会参加を促進するとともに、男性の家事育児への参加促進するための事業も実施できた。 主な事業:「再チャレンジ支援事業」、「ナースセンター事業」</li> <li>● 県においても「男性職員の育児休業等取得に関するアンケート調査」実施や職員が利用するシステム内に「職員の子育て応援ページ」を開設するなど、意識改革に取り組み、男性の育児休業取得を働きかけ、「育児休業」に「部分休業」「育児短時間勤務」を含む育児休業等の取得率は、平成24年度には3.90%となり、目標値を達成できた。</li> <li>● 各事業の実施により、男女の仕事と生活の調和を推進するための環境づくりが促進された。</li> </ul> <p>◆ 数値目標等の見直しについて ○<b>県職員の男性の育児休業等取得率</b>については、目標値に達成しているため、今後、特定事業主行動計画策定・推進委員会を開催し、数値目標の修正等について検討する予定</p>

### 基本目標6 雇用の分野における男女共同参画の推進

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値) / (目標値-基準値)</small>	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
女性労働支援セミナー参加者数 (H23年度で事業終了)	64名	H21	70名	H23	16.7%	100名	H27
<b>(新)ぐんまのイクボス養成塾(県域講演会)参加者数</b>	<b>143名</b>	<b>H24</b>	<b>143名</b>	<b>H24</b>	—	<b>150名</b>	<b>H27</b>
男女共同参画推進員の設置	143事業所	H21	408事業所	H24	74.2%	500事業所	H27
職場で男女間の差別がないと感じる人の割合	29.8%	H21	29.8%	H21	—	増加	H27

中間年評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所への男女共同参画推進員設置を促進し、設置事業所数も増加した。</li> <li>● 男性の育児休業など育児参加が進まない要因として、職場の理解が得にくいことがあげられるが、新規事業として開始したぐんまのイクメン・イクボス養成塾は、男性側の育児参加促進だけでなく、事業所側(上司や同僚)の意識改革を働きかけるものとなっている。 ・「ぐんまのイクメン・イクボス養成塾」→「女性労働支援セミナー」(H23年度事業終了)の後継事業</li> </ul> <p>◆ 数値目標等の見直しについて ○<b>女性労働支援セミナー参加者数</b> 指標の変更 理由:事業終了により指標を「ぐんまのイクボス養成塾(県域講演会)参加者数」へ変更</p>

### 基本目標7 農山村における男女共同参画の推進

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値) / (目標値-基準値)</small>	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
農村生活アドバイザー数	139人	H21	146	H24	700.0%	140人	H27
女性農業委員数の割合(基本目標2再掲)	7.2%	H21	9.2%	H24	71.4%	10.0%	H27
女性農業者の農業関連審議会等の委員割合	23.2%	H21	18.5%	H24	-69.1%	30.0%	H27
家族経営協定締結農家数	1,664戸	H21	1,917戸	H24	60.8%	2,080戸	H27
認定農業者数(女性単独+共同)	101件	H21	123件	H24	64.7%	135件	H27

中間年評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 数値目標として設定した農村生活アドバイザー数、女性農業委員の割合、認定農業者数はいずれも目標値を達成しており、家族経営協定締結農家数も目標値に近い実績となっている。</li> <li>● 農山村地域における男女共同参画社会づくりを一層推進するため、意識醸成や能力・技術の向上支援を引き続き行う。</li> </ul>

- ◆ 数値目標等の見直しについて
  - 農村生活アドバイザー数については数値の修正はしないが最新値を下回らないようにする。
  - 女性農業委員数の割合 基本目標2(再掲)
  - 認定農業者数 目標値変更 理由: H24年度実績で123件となり、既に目標値を達成しているため、「ぐんま農業・農村男女共同参画行動計画(H23～H27年度)」の推進目標を上方修正し、H27年度の目標値を110件から135件とする。
  - 家族経営協定締結農家数 目標値変更 理由: H24年度実績で1,917戸となり、98.8%の達成率となっているため、個別計画である「ぐんま農業はばたけプラン(H23年度～H27年度)」で設定する目標値を上方修正し、目標値を1,920件から2,080件(H27年度)とする。
  - 女性農業者の農業関係審議会等の委員割合 職指定のため適当な人材がないことが減員だが、引き続き最新値を下回らないよう働きかけを行っている。

**基本目標8 高齢者、障害者\*1、外国人など様々な人々が安心して暮らせる環境の整備**

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値) / (目標値-基準値)</small>	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
グループホーム・ケアホーム定員数	954名	H22	1,429名	H25.4.1	80.5%	1,544名	H26
思いやり駐車場協定施設数	602施設	H22	785施設	H24	46.0%	1,000施設	H27
人にやさしい福祉のまちづくり条例に基づく適合証交付数	52施設	H22	80施設	H24	48.3%	110施設	H27

- 中間年評価**
- 指標となっているグループホーム・ケアホーム定員数は目標達成度も高く順調に取組が進んだ。また、思いやり駐車場協定施設数については、具体的な数値目標を設定し、取組を推進することとなった。
  - 様々な困難を抱える人々が直面する問題解決に、男女共同参画の視点を取り入れた事業を実施することができた。
  - 引き続き、高齢者、障害者、外国人など様々な人々が安心して暮らせる環境の整備に取り組む。
- ◆ 数値目標等の見直しについて
- グループホーム・ケアホーム定員数 目標値・目標年度変更 理由: 「バリアフリーぐんま障害者プラン5(H24～26年度)」が策定されたため基準値見直し
  - 思いやり駐車場協定施設数 目標値記入 理由: 「はばたけぐんまプラン」重点プロジェクト推進シートの目標値に合わせ具体的数値を設定
  - 人にやさしい福祉のまちづくり条例に基づく適合証交付数 目標値変更 理由: 県総合計画「はばたけぐんまプラン」の目標値に合わせ

**基本目標9 生涯にわたる健康づくりの推進**

指標項目	基準値		最新値		達成度 <small>(最新値-基準値) / (目標値-基準値)</small>	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
NICU病床数 *1	30床	H22	42床	H24	60%/100%	50床/42床	—	
保健福祉事務所におけるHIV抗体検査件数	1,396件	H21	1,425件	H24	7.2%	1,800件	H27	
乳がん検診受診率	43.1%	H22	43.1%	H22	—	50.0%	H29	
子宮がん検診受診率	41.6%	H22	41.6%	H22	—	50.0%	H29	
不妊専門相談センター相談件数	31件	H21	35件	H24	21.1%	50件	H27	
特定不妊治療費助成事業 *2	1,515件	H21	1,321件	H24	—	1,200件	H27	
性・命・エイズ講演会開催率	小学校	53.2%	H21	60.2%	H24	41.7%	70.0%	H27
	中学校	42.7%	H21	55.4%	H24	46.5%	70.0%	H27
	高等学校(県立)	98.4%	H21	100.0%	H24	100.0%	100.0%	H27
	高等学校*3	95.7%	H21	97.1%	H24	32.6%	100.0%	H27

\*1 50床は長期的目標、42床は短期的目標である。 \*2 27年度の数値は高崎市を含まないため、達成度は不明。

\*3 高等学校: 県立高校及び市立高校

- 中間年評価**
- 生涯にわたる健康づくりの推進を図るため、女性の健康問題に関する知識の普及・啓発に取り組んだ。
  - 女性の健康を脅かすエイズ、性感染症の予防など正しい知識の普及・啓発のため、教職員など指導者に対する研修会の実施など、教育現場での取り組みを実施した。
- ◆ 数値目標等の見直しについて
- 乳がん検診受診率、子宮がん検診受診率 基準値変更 理由: 「群馬県がん対策推進計画」の基準に合わせ「平成22年国民生活基礎調査」から数値を引用したため。
  - 乳がん検診受診率、子宮がん検診受診率 目標年度変更 理由: 「群馬県がん対策推進計画」に合わせ変更
  - 性・命・エイズ講演会開催率 指標の変更(対象の変更) 理由: 当初高等学校については県立高校を対象としていたが、県立高校については平成24年度に目標である100%を達成したため、対象高校を市立高校まで拡大し推進する指標に変更する。

**基本目標10 教育・学習の充実**

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
ぐんま男女共同参画センター主催講座満足度(80点以上の評価の割合)	76%	H21	85%	H24	<b>225.0%</b>	80%以上	H27
人権感覚育成実技研修の受講者数	200人	H21	224人	H24	—	推進	H27

**中間年評価**

- 様々な分野での男女共同参画社会に関する教育・学習を充実させるための取組が実施できた。
  - いじめ問題が大きくクローズアップされる中、学校教育における、人権教育の推進・充実が図られた。
  - 家庭生活や地域活動における人権尊重に基づく男女平等の意識を高めるための学習機会の提供ができた。
- ◆ 数値目標等の見直しについて  
 ○ぐんま男女共同参画センター主催講座満足度 指標項目訂正(説明を付加) 理由:満足度の基準がわかりにくかったため説明を追加

**基本目標11 協働・参画型社会の基盤づくりと国際社会への貢献**

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
NPO・ボランティアサロンぐんま利用者数	<b>11,043人</b>	H22	11,755人	H24	<b>108.4%</b>	<b>11,700人</b>	H27	
NPOとの協働の取組事業数	92事業	H22	104事業	H24	<b>42.9%</b>	<b>120事業</b>	H25	
ぐんま男女共同参画センター有料施設の登録団体利用数	69回	H21	79回	H24	<b>90.9%</b>	80回以上	H27	
<b>(新)ぐんま男女共同参画センター登録団体施設利用数</b>	<b>117回</b>	<b>H21</b>	<b>175回</b>	<b>H24</b>	<b>85.3%</b>	<b>185回以上</b>	<b>H27</b>	
福祉ボランティア数	個人	3,831人	H22	7,701人	H23	<b>2289.9%</b>	4,000人	H27
	団体	3,686団体	H22	4,814団体	H23	<b>8057.1%</b>	3,700団体	H27
環境アドバイザー登録者の女性割合	29.0%	H22	29.5%	H24	—	増加	H27	

**中間年評価**

- 男女共同参画社会の形成には、様々な分野での取組が必要であり、事業所やNPOなどの団体との連携や協働事業の実施により、協働・参画社会の基盤づくりが推進された。  
 特に、福祉ボランティア数 個人は目標値の約2倍、団体は1.3倍と目標値を大きく上回る実績となった。
  - 引き続き、男女共同参画の視点での地域課題解決に向けた協働を推進する。
- ◆ 数値目標等の見直しについて  
 ○NPO・ボランティアサロンぐんま利用者数 基準値変更 理由:H22年度の実績値に変更  
 ○NPO・ボランティアサロンぐんま利用者数 目標値変更 理由:サロンの開館時間がH22~24年度の77時間/週からH25年度~は60時間/週に縮小されるため、目標値も開館時間の縮小を反映し15,000人から11,700人に下方修正  
 ○NPOとの協働の取組事業数 目標値変更 理由:当初110事業を目標としていたがH23年度の実績が111事業となり目標を達成したため、目標値を120事業に変更  
 ○ぐんま男女共同参画センター登録団体の有料施設利用数 指標の変更 理由:指標の目的は「センターが登録団体の活動拠点となり得ているか」を図るものであるため、有料・無料を含めた利用回数を目標とすることが妥当と考えるため「ぐんま男女共同参画センター登録団体施設利用数」に指標を変更。新しい指標では達成率は変更前指標より下がってしまうが、目標達成に向け団体等へ施設利用を働きかける。  
 ○福祉ボランティア数 目標を大きく上回る最新値となっているが、目標値等の変更は行わない。  
 最新値数値は東日本大震災発生年にあたり、一時的に数値が上がったと想定される。この状況を継続的な取組につなげられるよう努めていく。

注) 網掛け項目:事業終了などにより指標を変更したもの  
 (新):新しく指標項目としたもの  
 下線部分:平成25年度に実施した中間年の見直しにより、指標数値の訂正及び目標値の見直しを行ったもの